

## 再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：川崎 茂信

事業名：ひだか 日高自動車道（一般国道235号） あつがしずない 厚賀静内道路	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 北海道開発局	
起終点：自：ほつかいどうさる ひだか みはら 北海道沙流郡日高町字美原 至：ほつかいどう ひだか しん しずないかみもり 北海道日高郡新ひだか町静内神森	延長：16.2 km		
事業概要：日高自動車道は、苫小牧市を起点とし、厚真町、むかわ町、日高町、新冠町、新ひだか町を經由して浦河町に至る延長約120kmの自動車専用道路である。 このうち厚賀静内道路は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、国際拠点港湾苫小牧港、拠点空港新千歳空港等への物流効率化等の支援を目的とした、厚賀インターチェンジ（仮称）から静内インターチェンジ（仮称）に至る延長16.2kmの事業である。			
H7年度事業化	H1年度都市計画決定 （H1年度変更）	H23年度用地着手	H23年度工事着手
全体事業費	約578億円	事業進捗率	15%
計画交通量	11,100～13,000台/日		
費用対効果 分析結果	B/C：(事業全体) 1.9 (残事業) 2.4	総費用：(残事業)/(事業全体) 411/525億円 （事業費：378/493億円 維持管理費：32/32億円）	総便益：(残事業)/(事業全体) 1,000/1,000億円 （走行時間短縮便益：841/841億円 走行経費減少便益：116/116億円 交通事故減少便益：43/43億円）
感度分析の結果	事業全体および残事業について感度分析を実施		
	【事業全体】交通量：B/C=1.7～2.2（交通量±10%） 事業費：B/C=1.8～2.1（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.8～2.0（事業期間±20%）	【残事業】交通量：B/C=2.1～2.8（交通量±10%） 事業費：B/C=2.2～2.7（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.3～2.5（事業期間±20%）	基準年：平成28年
事業の効果等 事業の必要性及び効果			
①主要都市間の利便性向上 ・苫小牧市と新ひだか町間の所要時間が短縮され、地域住民の利便性向上や地域間交流の活性化が期待される。 ②災害時の緊急輸送ルートの強化 ・津波浸水想定区域を回避し、緊急時の避難や迅速な救急搬送、救援物資等の輸送の確実性向上が期待される。 ③拠点空港への利便性向上 ・速達性及び安定性の高い輸送ルートが確保され、浦河町や新ひだか町から新千歳空港への農産品等の流通利便性向上が期待される。 ④物流の利便性向上 ＜畜産品の流通利便性向上＞ ・速達性及び安定性の高い輸送ルートが確保され、軽種馬の流通利便性向上が期待される。 ＜水産品の流通利便性向上＞ ・速達性及び定時性の高い輸送ルートが確保され、道内外へ出荷される水産品の流通利便性向上が期待される。 ⑤救急搬送の安定性向上 ・新ひだか町から苫小牧市の医療施設までの所要時間が短縮されるなど、高次医療施設への救急搬送の安定性向上が期待される。 ⑥地域プロジェクト推進の支援 ・速達性及び定時性の高いアクセスルートが確保され、交流人口の拡大や企業誘致等、地域プロジェクトの推進が支援される。 ⑦日常生活の利便性向上 ・速達性及び安定性の高い輸送ルートが確保され、高齢者の日常生活の利便性向上が期待される。			

